

会報

全国国公立幼稚園・こども園長会



主な内容

各部・委員会報告

各ブロック活動報告

平成三十年度

全国大会—予告—

組織力の維持・発展と 質の高い幼児教育の推進

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 関 美津子



園生活のまとめの時期となり、子どもたち一人一人が様々な場面で成長の姿を見せ、進級や就学に向けて期待も膨らんでいることと思えます。

この姿を受け止めながら、来年度全面実施となる新幼稚園教育要領等での実践に向けて、私たちが従来より基本としてきた、「環境を通して行う教育」や「遊びを通しての総合的な指導」の成果と、新たな課題等を踏まえた教育課程の編成を進められていくと思えます。

全国国公立幼稚園・こども園長会の皆様には、今年度も多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

【幼児教育の無償化に向けて】

質の高い幼児教育の機会の保障が、未来社会を創る担い手となる子どもたちに重要であることが、様々な研究から明らかになってきました。幼児教育への投資が未来への投資であることが社会的に認知されるようになり、質の高い幼児教育を受ける機会を保障するため、無償化に向けての動きが加速しています。無償化は教育の機会均等だけでなく、教育費負担の軽減により、安心して子育てができる環境作りとしての意義が大きいとされ、少子化対策とも関連しています。

このような状況を受け、無償化によって明らかになる様々な課題も解決を目指しながら、私たち国公幼は、今まで以上に質の高い幼児教育を実践することが求められます。地域の核となり日本の幼児教育をリードしていくことが私たちの使命です。

【質の高い幼児教育実践のために】

この十年余りで、多様な教育・保育施設で幼児教育が進められるようになりました。本会では平成二十七年、施設が移行されても引き続き会

員の皆様と研修や研究を深め、すべての子どもに質の高い幼児教育を保障するために、「全国国公立幼稚園・こども園長会」と名称を変更しました。会員は、国公立の幼稚園・こども園等の園長及び同等の職務にある者をもって組織されています。

主体性のある幼児の育成を目指し、「リーダーシップの発揮」「教育の質の保障」「学び続ける教員・保育士の育成」「家庭・地域との連携」を重点に、各種事業を展開していますので、それぞれの成果を園経営に生かしていただきたいと思います。

【組織力の維持・発展を】

各地域における幼児教育を取り巻く状況は年々厳しさを増しています。本会の会員数も年々減少していますが、全国組織として、国等の行政や関係諸機関に対して、各地域の実態や幼児教育の質、教員等の勤務実態や処遇改善等について、意見表明や働き掛けを行っています。

会員の皆様におかれましても、引き続き各地域・園の実情に応じ、組織力を生かしながら、一人一人が組織の一員として力を発揮し、行政や関係諸機関へ根気強い働き掛けをお願いいたします。また、新年度に向けて役割の交代をする際には、「子どもの最善の利益」の保障のために、組織としての課題を明らかにし、前向きに改善していく気持ちをもって、引き続きいまいります。